

[様式4]

公益財団法人 大学基準協会

2017（平成29）年度「大学評価」申請用
大学基礎データ（様式）

聖 心 女 子 大 学

◆大学基礎データ作成上の注意事項

- 1 「大学基礎データ」は、原則として「大学評価」申請**前年度**の5月1日現在のデータで作成してください。ただし、各表の注において作成年に関する指示がある場合は、その指示に従って作成してください。
本様式は、2017（平成29）年度申請用に作成していますので、2016（平成28）年5月1日が作成基準日となります。
- 2 「大学基礎データ」は、A4判で作成し（※ただし、表4については、A3版で作成してください）、両面印刷でご提出ください。
また、全体に通しページを付し、目次を作成してください。
- 3 各表に記入する数値について小数点以下の端数が出る場合、特に指示のない限り小数点以下第2位を四捨五入して小数点第1位まで表示してください。
- 4 各表において、制度自体がない場合は「-」（ハイフン）、制度はあるものの該当者がいない場合は「0」など、「0」と「-」を使い分け、空欄を残さないようにしてください。
- 5 説明を付す必要があると思われるものについては、備考欄に記述するか欄外に大学独自の注をつけることができます。
- 6 各表に該当しない欄や該当しない表がある場合でも、削除せず、全体に斜線を引くか、各セルに「-」（ハイフン）を記入するなどしてうめてください。
- 7 各表に付されている脚注に従って作成し、脚注は消去しないでください。

目 次

I 教育研究組織		ページ数
1 (表1) 全学の設置学部・学科・大学院研究科等 (2017年4月1日現在)		様式4-1
II 教員組織		
1 (表2) 全学の教員組織		様式4-2
III 学生の受け入れ		
1 (表3) 学部・学科、大学院研究科、専門職大学院の志願者・合格者・入学者の推移		様式4-5
2 (表4) 学部・学科、大学院研究科、専門職大学院等の学生定員及び在籍学生数		様式4-11
IV 施設・設備等		
1 (表5) 校地、校舎、講義室・演習室等の面積		様式4-12
V 財務		
1-1 (表6) 消費収支計算書関係比率 (法人全体のもの) ※私立大学のみ		様式4-13
1-2 (表7) 消費収支計算書関係比率 (大学単独のもの) ※私立大学のみ		様式4-14
2 (表8) 貸借対照表関係比率 ※私立大学のみ		様式4-15

I 教育研究組織

1 全学の設置学部・学科・大学院研究科等（2017年4月1日現在）

（表1）

	学部等の名称 *注1	学科等の名称	開設年月日	所在地	備考	
学士課程	文学部	英語英文学科	1948年4月1日	東京都渋谷区広尾4-3-1		
	同上	日本語日文学科	1948年4月1日	同上		
	同上	(歴史社会学科)	1948年4月1日	同上	平成26年4月募集停止	
	同上	史学科	2014年4月1日	同上	平成25年6月文部科学省設置届出済み	
	同上	人間関係学科	2014年4月1日	同上	平成25年6月文部科学省設置届出済み	
	同上	国際交流学科	2014年4月1日	同上	平成25年6月文部科学省設置届出済み	
	同上	哲学科	1948年4月1日	同上		
	同上	教育学科 教育学専攻	1957年4月1日	同上	平成26年4月教育・心理学専攻から名称変更し、教育学専攻と心理学科となった。	
	同上	教育学科 初等教育学専攻	1957年4月1日	同上		
	同上	心理学科	2014年4月1日	同上	平成25年6月文部科学省設置届出済み、平成26年4月教育・心理学専攻から名称変更し、教育学専攻と心理学科となった。	
博士課程	大学院研究科等の名称	専攻等の名称	開設年月日	所在地	基礎となる学部等 *注5	備考
	文学研究科	英語英文学専攻〈修士課程〉	1952年4月1日	東京都渋谷区広尾4-3-1	文学部英語英文学科	
	同上	日本語日文学専攻〈修士課程〉	1952年4月1日	同上	文学部日本語日文学科	
	同上	史学専攻〈修士課程〉	1952年4月1日	同上	文学部史学科	注①
	同上	哲学専攻〈修士課程〉	1998年4月1日	同上	文学部哲学科	
	同上	社会文化学専攻〈博士前期課程〉	2004年4月1日	同上	文学部人間関係学科、国際交流学科	注①
	同上	人間科学専攻〈博士前期課程〉	1995年4月1日	同上	文学部教育学科、心理学科	注①
	同上	人文学専攻〈博士後期課程〉	2000年4月1日	同上		
	同上	社会文化学専攻〈博士後期課程〉	2005年4月1日	同上		
	同上	人間科学専攻〈博士後期課程〉	1996年4月1日	同上		
その他	附置研究所・附属病院等の名称 *注2		開設年月日	所在地	備考	
	キリスト教文化研究所		1957年4月1日	東京都渋谷区広尾4-3-1		
	心理教育相談所		2003年4月1日	同上		

- [注] 1 学部・学科、大学院研究科・専攻、研究所等ごとに記載してください（通信教育課程を含む）。
 2 教養教育科目、外国語科目、保健体育科目、教職科目等を担当する独立の組織や、附置研究所、附属病院等がある場合には、「その他」の欄に記載してください。
 3 学生募集を停止している学部・学科等はその名称を（ ）で括り、備考欄に募集停止した年度を記入してください。
 4 学部、研究科等が名称を変更している場合、届出による設置の場合、申請年度（2015年度）から学生受け入れを開始する場合、文部科学省に設置申請中の場合は、備考欄にその旨を記載してください。
 5 大学院研究科・専攻については、基礎となる学部・学科等の名称を、「基礎となる学部」欄に記入してください。

[本学としての注記] 注① 基礎となる学部学科については、平成25年6月文部科学省設置届出済み

II 教員組織

1 全学の教員組織

(表2)

学部・学科等		専任教員数 *注1・2・3・10・11										助手 *注7	設置基準上 必要専任 教員数注④		専任教員1人 あたりの 在籍学生数 (表4(B)/計(A)) *注9	兼任教員 数 *注4	備考 *注5
		教授		准教授		講師		助教		計(A)			*注6	うち 教授数			
			特任等 (内数)		特任等 (内数)		特任等 (内数)		特任等 (内数)		特任等 (内数)						
文学部	英語英文学科	7	0	1	0	2	0	-	-	10	0	-	6	3	31.3	48	T/A 2人
	日本語日本文学科	5	0	1	0	1	0	-	-	7	0	-	5	3		23	T/A 2人
	史学科	7	0	1	0	1	0	-	-	9	0	-	6	3		27	T/A 2人
	人間関係学科	5	0	2	0	0	0	-	-	7	0	-	6	3		26	T/A 1人
	国際交流学科	5	0	6	0	0	0	-	-	11	0	-	6	3		51	T/A 1人
	哲学科	4	0	1	0	2	0	-	-	7	0	-	5	3		23	T/A 3人
	教育学科 (教育学・初等教育学専攻)	10	0	1	0	1	0	-	-	12	0	-	8	4		42	T/A 5人
	心理学科	4	0	3	0	1	0	-	-	8	0	-	6	3		16	T/A 5人
歴史社会学科 注②	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	-	-	-	-	-	-	
文学部 計		47	0	16	0	8	0	0	0	71	0	0	48	25		(256)	
(その他の学部教育担当組織) *注8																22	総合現代教養の非常勤講師
大学全体の収容定員に応じ 定める専任教員数													21	11			
合計		47	0	16	0	8	0	0	0	71	0	0	69			278	71名の他、学長1名在職

研究科・専攻		専任教員数 *注1・2・3・13				助手 *注7	設置基準上 必要専任教員数 *注6			兼任 教員数 *注4	備考 *注5
		研究指導教員数 *注12	うち 教授数	研究指導 補助教員	計		研究指導教員数	うち 教授数	研究指導 補助教員		
文学研究科	英語英文学専攻(修士課程)	7	5	-	7	-	3	2	2	4	
	日本語日本文学専攻(修士課程)	6	5	-	6	-	3	2	2	1	
	哲学専攻(修士課程)	6	4	-	6	-	2	2	3	1	
	史学専攻(修士課程)	9	7	-	9	-	4	3	3	2	
	社会文化学専攻(博士前期課程)	11	6	-	11	-	注①：※	5	注①：※	1	
	人間科学専攻(博士前期課程)	20	14	-	20	-	注①：※	5	注①：※	4	
	社会文化学専攻(博士後期課程)	11	6	-	11	-	注①：※	5	注①：※	0	R/A 1人
	人間科学専攻(博士後期課程)	20	14	-	20	-	注①：※	4	注①：※	0	R/A 2人
	人文学専攻(博士後期課程)	18	14	-	18	-	注①：※	0	注①：※	0	R/A 1人
文学研究科 計		108	75	0	108	0	12	28	10	(13)	
合計		108	75	0	108	0	12	28	10	9	

- [注] 1 全学の専任教員について、学部、大学院研究科、専門職大学院、研究所等、各所属組織ごとに記載し、空欄部分に数値を入力してください。網掛けの欄には計算式が入っています。専任教員数の記入に際しては、休職、サバティカル制度等により一時的に大学を離れている場合も、専任教員数に算入してください。ただし、大学設置基準第11条にいう「授業を担当しない教員」については、専任教員数には含めないでください。
- 2 「大学の教員等の任期に関する法律」に基づく任期制専任教員は専任教員数に含めてください。その他、特任教授、客員教授など任用期間のある教員については、研究条件等において専任教員と同等の者（専任者）のみを「専任教員数」欄の「教授」「准教授」「講師」「助教」の該当する欄（左側）に含めて記入するとともに、その数を「特任等(内数)」欄に内数で示してください。また、専任者に該当しない特任教授等については「兼任教員数」欄に記入してください。
- 3 本表内では1人の専任教員を同一の課程間（学士課程間、修士課程間）に重複記入しないでください。ただし、学士課程と修士課程、修士課程と博士課程（それぞれ1専攻に限る）など、複数の課程間に重複して記入することは可能です。
- 4 「兼任教員数」欄には、学外からのいわゆる非常勤教員数（併設短期大学からの兼務者も含む）を記入してください。同一の兼任教員が複数の学科、専攻を担当する場合は、それぞれ記入してください（重複可）。大学の状況によっては、学科ごとではなく学部全体、研究科全体で記述しても構いません。
- 5 専任教務補助員（例えば、いわゆる副手、実験補助員等）、ティーチング・アシスタント（TA）、リサーチ・アシスタント（RA）については、「備考」欄にその各々の名称と人数を記入してください。また、薬学部を設置している場合には、備考欄に、実務家教員数をご記入ください。
- 6 「設置基準上必要専任教員数」欄には、学部については大学設置基準別表第一、第二、大学院研究科については「大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件」（平成11年文部省告示 第175号）、専門職大学院については「専門職大学院に関し必要な事項について定める（平成15年文部科学省告示第53号）により算出した数値を記入してください。同表に基づかない算出方法により設置認可を得ている場合にはその数値を記入するとともに、備考欄にその旨を記述してください。
- 7 「助手」欄には、所属先にかかわらず、業務に従事している助手数をすべて記入してください。（例：学部の助手であっても大学院研究科においても従事している場合、大学院研究科の助手数にも含めてください。また、修士課程、博士課程、専門職学位課程のいずれも担当している場合にも、それぞれの助手数に含めてください。）

<学部・学科等について>

- 8 教養教育科目、外国語科目、保健体育科目、教職科目等の学部教育を担当する独立の組織がある場合には、「(その他の学部教育担当組織)」欄に、その名称を記載し、専任教員数を記入してください。
- 9 「専任教員1人あたりの在籍学生数」欄には、表4の在籍学生数(B) / 本表の専任教員数計(A)により、算出してください。なお、「(その他の学部教育担当組織)」がある場合には、その他の学部教育担当組織に所属する教員数を各学部・学科の収容定員に応じてそれぞれに按分して算出してください。
- 10 「専任教員数」欄には、大学院研究科等の専任で、その研究科の基礎となる学部・学科等においても専任として授業を担当している教員数も含めて記入してください。(例：大学院研究科に専任教員が配置され、学部教育が専ら研究科の専任教員によって行われている場合など)
- 11 教育組織と教員組織が異なる場合も、大学設置基準における必要専任教員数に留意して、学部教育担当専任教員数を適切に記入してください。
- 12 学部における設置基準上必要な教授数は、各学科で算出した必要教授数の合計値になり、大学全体における設置基準上必要な教授数は、各学部の必要教授数と大学全体の収容定員に応じ定める教授数の合計値になります。

<大学院研究科について>

- 13 「研究指導教員」とは、大学院設置基準第9条第1項各号に掲げる資格を有する教員を指し、「研究指導補助教員」とは、研究指導の補助を行い得る教員を指します。「研究指導教員」「研究指導補助教員」については、研究指導を行っているあるいは補助しているという実態による判断ではなく、学内基準による研究指導資格あるいは研究指導補助資格の有無で判断してください。
- 14 「専任教員数」欄には、学部・学科等の専任で、大学院研究科等においても専任として授業を担当している教員数も含めて記入してください。(例：学部・学科に専任教員が配置され、大学院教育が専ら学部・学科の専任教員によって行われている場合など)

[本学としての注記]

- 注① 文部科学省に問い合わせたところ、※については専門分野判定ができないため、大学院設置基準における専任教員数について指示が出せないとの回答を得たため、未記入。
- 注② 平成26年度歴史社会学科の改組により、新設学科(史学科、人間関係学科、国際交流学科)へ専任教員数を移行済み。
- 注③ 既に専任教員数を新学科に移行済みのため、完成年度(平成29年度)の収容定員を基準に計上している。

Ⅲ 学生の受け入れ

1 学部・学科、大学院研究科、専門職大学院の志願者・合格者・入学者数の推移

<学部> *注5

(表3)

学部名	学科名	入試の種類 *注4・7		2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2016年度 入学者の 学科計に対す る 割合(%) *注2	2016年度 入学者の 学部計に対す る 割合(%) *注2
文 学 部	学 部 一 括 募 集	一般入試 (3教科方式) *注8	志願者	862	878	830	786	723	-	22.85
			合格者	389	372	✕ 389	✕ 376	398		
			入学者(A)	118	84	132	101	125		
			入学定員(B)	250	250	265	265	265		
			A/B*注2	0.47	0.34	0.50	0.38	0.47		
		一般入試 (総合小論文方式) ※2012年度までプレゼン テーション方式として実施	志願者	48	111	136	107	102	-	6.22
			合格者	10	31	46	39	40		
			入学者(A)	10	25	42	32	34		
			入学定員(B)	0	0	0	0	0		
			A/B	-	-	-	-	-		
		AO入試	志願者	134	114	133	121	118	-	13.16
			合格者	66	68	85	64	73		
			入学者(A)	66	68	85	63	72		
			入学定員(B)	0	0	0	0	0		
			A/B	-	-	-	-	-		
		附属校推薦 (姉妹校推薦)	志願者	138	164	130	128	118	-	21.57
			合格者	138	164	130	128	118		
			入学者(A)	138	164	130	127	118		
			入学定員(B)	✕ -	✕ -	✕ -	✕ -	✕ -		
			A/B	-	-	-	-	-		
		指定校推薦	志願者	167	167	154	177	191	-	34.73
			合格者	167	167	154	177	191		
			入学者(A)	167	167	154	177	190		
			入学定員(B)	✕ -	✕ -	✕ -	✕ -	✕ -		
A/B	-		-	-	-	-				
留学生試験	志願者	10	12	11	13	6	-	0.37		
	合格者	6	9	9	11	3				
	入学者(A)	5	7	9	10	2				
	入学定員(B)	10	10	10	10	10				
	A/B	0.50	0.70	0.90	1.00	0.20				
帰国生徒入試	志願者	57	50	24	23	21	-	1.10		
	合格者	33	28	13	14	16				
	入学者(A)	8	8	7	6	6				
	入学定員(B)	30	30	30	30	30				
	A/B	0.27	0.27	0.23	0.20	0.20				
学 部 合 計			志願者	1,416	1,496	1,418	1,355	1,279	/	100.00
			合格者	809	839	✕ 826	✕ 809	839		
			入学者(A)	512	523	559	516	547		
			入学定員(B)	450	450	465	465	465		
			A/B	1.14	1.16	1.20	1.11	1.18		

大 学 合 計	志願者	1,416	1,496	1,418	1,355	1,279		
	合格者	809	839	※ 826	※ 809	839		
	入学者(A)	512	523	559	516	547		
	入学定員(B)	450	450	465	465	465		
	A/B	1.14	1.16	1.20	1.11	1.18		

<大学院研究科>*注5

研究科名	専攻名	入試の種類 *注4・7		2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	入学者の課程計に対する割合 (%)	入学者の研究科計に対する割合 (%)
文 学 研 究 科	英語英文学専攻（修士課程）	一般入試	志願者	3	2	6	3	1		
			合格者	2	2	3	3	0		
			入学者(A)	2	2	3	3	0		
			入学定員(B)	10	10	0	0	0		
			A/B*注2	0.20	0.20	-	-	-		
		社会人入試	志願者	-	-	1	1	0		
			合格者	-	-	1	0	0		
			入学者(A)	-	-	1	0	0		
			入学定員(B)	-	-	0	0	0		
			A/B	-	-	-	-	-		
		課程計	志願者	3	2	7	4	1		
			合格者	2	2	4	3	0		
			入学者(A)	2	2	4	3	0		
			入学定員(B)	10	10	10	10	10		
			A/B	0.20	0.20	0.40	0.30	0.00		
	専攻計	志願者	3	2	7	4	1			
		合格者	2	2	4	3	0			
		入学者(A)	2	2	4	3	0			
		入学定員(B)	10	10	10	10	10			
		A/B	0.20	0.20	0.40	0.30	0.00			
	日 本 語 日 本 文 学 専 攻（修士課程）	一般入試	志願者	5	6	2	1	1		
			合格者	2	2	0	1	1		
			入学者(A)	2	2	0	0	0		
			入学定員(B)	0	0	0	0	0		
A/B			-	-	-	-	-			
社会人入試		志願者	0	0	0	0	0			
		合格者	0	0	0	0	0			
		入学者(A)	0	0	0	0	0			
		入学定員(B)	0	0	0	0	0			
		A/B	-	-	-	-	-			
留学生入試		志願者	0	0	2	0	0			
		合格者	0	0	0	0	0			
		入学者(A)	0	0	0	0	0			
		入学定員(B)	0	0	0	0	0			
		A/B	-	-	-	-	-			
課程計		志願者	5	6	4	1	1			
		合格者	2	2	0	1	1			
		入学者(A)	2	2	0	0	0			
		入学定員(B)	5	5	5	5	5			
	A/B	0.4	0.4	0.0	0.0	0.00				

専攻計		志願者	5	6	4	1	1		
		合格者	2	2	0	1	1		
		入学者(A)	2	2	0	0	0		
		入学定員(B)	5	5	5	5	5		
		A/B	0.40	0.40	0.00	0.00	0.00		
史学専攻(修士課程)	一般入試	志願者	5	2	2	2	2		
		合格者	3	2	2	1	2		
		入学者(A)	3	1	2	0	1		
		入学定員(B)	0	0	0	0	0		
		A/B	-	-	-	-	-		
	社会人入試	志願者	-	-	-	0	0		
		合格者	-	-	-	0	0		
		入学者(A)	-	-	-	0	0		
		入学定員(B)	-	-	-	0	0		
		A/B	-	-	-	-	-		
	留学生入試	志願者	-	-	-	0	0		
		合格者	-	-	-	0	0		
		入学者(A)	-	-	-	0	0		
		入学定員(B)	-	-	-	0	0		
		A/B	-	-	-	-	-		
	課程計	志願者	5	2	2	2	2		
		合格者	3	2	2	1	2		
		入学者(A)	3	1	2	0	1		
		入学定員(B)	5	5	5	5	5		
		A/B	0.60	0.20	0.40	0.00	0.20		
専攻計		志願者	5	2	2	2	2		
		合格者	3	2	2	1	2		
		入学者(A)	3	1	2	0	1		
		入学定員(B)	5	5	5	5	5		
		A/B	0.60	0.20	0.40	0.00	0.20		
社会文化学専攻(博士前期課程)	一般入試	志願者	3	2	1	3	1		
		合格者	2	2	1	3	0		
		入学者(A)	2	2	0	3	0		
		入学定員(B)	0	0	0	0	0		
		A/B	-	-	-	-	-		
	社会人入試	志願者	0	0	0	0	0		
		合格者	0	0	0	0	0		
		入学者(A)	0	0	0	0	0		
		入学定員(B)	0	0	0	0	0		
		A/B	-	-	-	-	-		
	課程計	志願者	3	2	1	3	1		
		合格者	2	2	1	3	0		
		入学者(A)	2	2	0	3	0		
		入学定員(B)	6	6	6	6	6		
		A/B	0.33	0.33	0.00	0.50	0.00		

社会文化学専攻 (博士後期課程)	一般入試	志願者	0	0	0	1	0		
		合格者	0	0	0	1	0		
		入学者(A)	0	0	0	1	0		
		入学定員(B)	0	0	0	0	0		
		A/B	-	-	-	-	-		
	社会人入試	志願者	1	0	0	0	0		
		合格者	1	0	0	0	0		
		入学者(A)	1	0	0	0	0		
		入学定員(B)	0	0	0	0	0		
		A/B	-	-	-	-	-		
	課程計	志願者	1	0	0	1	0		
		合格者	1	0	0	1	0		
		入学者(A)	1	0	0	1	0		
		入学定員(B)	2	2	2	2	2		
		A/B	0.50	0.00	0.00	0.50	0.00		
専攻計	志願者	4	2	1	4	1			
	合格者	3	2	1	4	0			
	入学者(A)	3	2	0	4	0			
	入学定員(B)	8	8	8	8	8			
	A/B	0.38	0.25	0.00	0.50	0.00			
哲学専攻 (修士課程)	一般入試	志願者	4	4	2	5	0		
		合格者	4	3	2	4	0		
		入学者(A)	4	3	2	3	0		
		入学定員(B)	0	0	0	0	0		
		A/B	-	-	-	-	-		
	社会人入試	志願者	0	0	0	0	1		
		合格者	0	0	0	0	1		
		入学者(A)	0	0	0	0	1		
		入学定員(B)	0	0	0	0	0		
		A/B	-	-	-	-	-		
	課程計	志願者	4	4	2	5	1		
		合格者	4	3	2	4	1		
		入学者(A)	4	3	2	3	1		
		入学定員(B)	6	6	6	6	6		
		A/B	0.67	0.50	0.33	0.50	0.17		
専攻計	志願者	4	4	2	5	1			
	合格者	4	3	2	4	1			
	入学者(A)	4	3	2	3	1			
	入学定員(B)	6	6	6	6	6			
	A/B	0.67	0.50	0.33	0.50	0.17			
人文学専攻 (博士後期課程)	一般入試	志願者	3	1	2	1	3		
		合格者	3	1	2	0	3		
		入学者(A)	3	1	2	0	3		
		入学定員(B)	4	4	4	4	4		
		A/B	0.75	0.25	0.50	0.00	0.75		
	課程計	志願者	3	1	2	1	3		
		合格者	3	1	2	0	3		
		入学者(A)	3	1	2	0	3		
		入学定員(B)	4	4	4	4	4		
		A/B	0.75	0.25	0.50	0.00	0.75		
	専攻計	志願者	3	1	2	1	3		
		合格者	3	1	2	0	3		
		入学者(A)	3	1	2	0	3		
		入学定員(B)	4	4	4	4	4		
		A/B	0.75	0.25	0.50	0.00	0.75		

人間科学専攻（博士前期課程）	一般入試	志願者	14	20	12	12	8		
		合格者	8	10	6	8	6		
		入学者(A)	6	7	3	8	6		
		入学定員(B)	0	0	0	0	0		
		A/B	-	-	-	-	-		
	社会人入試	志願者	2	1	1	1	1		
		合格者	1	1	1	0	1		
		入学者(A)	1	1	1	0	1		
		入学定員(B)	0	0	0	0	0		
		A/B	-	-	-	-	-		
	留学生入試 (教育領域のみ)	志願者	0	0	0	0	0		
		合格者	0	0	0	0	0		
		入学者(A)	0	0	0	0	0		
		入学定員(B)	0	0	0	0	0		
		A/B	-	-	-	-	-		
	課程計	志願者	16	21	13	13	9		
合格者		9	11	7	8	7			
入学者(A)		7	8	4	8	7			
入学定員(B)		12	12	12	12	12			
A/B		0.58	0.67	0.33	0.67	0.58			
人間科学専攻（博士後期課程）	一般入試	志願者	1	1	1	1	0		
		合格者	1	1	1	1	0		
		入学者(A)	1	1	1	1	0		
		入学定員(B)	0	0	0	0	0		
		A/B	-	-	-	-	-		
	社会人入試	志願者	0	0	1	0	1		
		合格者	0	0	0	0	1		
		入学者(A)	0	0	0	0	1		
		入学定員(B)	0	0	0	0	0		
		A/B	-	-	-	-	-		
	課程計	志願者	1	1	2	1	1		
		合格者	1	1	1	1	1		
		入学者(A)	1	1	1	1	1		
		入学定員(B)	2	2	2	2	2		
		A/B	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50		
	専攻計	志願者	17	22	15	14	10		
合格者		10	12	8	9	8			
入学者(A)		8	9	5	9	8			
入学定員(B)		14	14	14	14	14			
A/B		0.57	0.64	0.36	0.64	0.57			
研究科合計	志願者	41	39	33	31	19			
	合格者	27	24	19	22	15			
	入学者(A)	25	20	15	19	13			
	入学定員(B)	52	52	52	52	52			
	A/B	0.48	0.38	0.29	0.37	0.25			
大学院合計	志願者	41	39	33	31	19			
	合格者	27	24	19	22	15			
	入学者(A)	25	20	15	19	13			
	入学定員(B)	52	52	52	52	52			
	A/B	0.48	0.38	0.29	0.37	0.25			

- [注] 1 空欄部分に数値を入力してください。網掛けの欄には計算式が入っています。
- 2 「A/B」「2015年度入学者の学科計に対する割合(%)」「2015年度入学者の学部計に対する割合(%)」は小数点以下第3位を四捨五入し、小数点第2位まで表示してください。
- 3 学部・学科、博士課程前期(修士)課程、博士課程後期(博士)課程、専門職大学院等、各学位課程ごとに学生募集別で記入してください。
- 4 「入試の種類」は、大学の実態に合わせて作成してください。ただし、「一般入試」欄には大学入試センター試験を含めてください。また、編入学試験については、記載は不要です。
- 5 セメスター制の採用により、秋学期入学など、年に複数回の入学時期を設定している場合は、それぞれの学期について作表してください。
- 6 学科内に専攻等を設け、その専攻等ごとに入学定員を設定している場合は、専攻等ごとに作表してください。
- 7 留学生入試を実施している場合、交換留学生は含めないでください。
- 8 入学定員が若干名の場合は「0」として記入してください。
- 9 法科大学院において未修・既修を分けて入試を実施していない場合は、両者をひとつにまとめて記入してください。

[本学としての注記]

- ※1 本学では文学部として一括募集を行っている。
推薦入試については定員を設けず、全体の入学定員465名(2013年まで450名)を満たすよう受け入れている。
- ※2 補欠合格者は含まない。

IV 施設・設備等

1 校地、校舎、講義室・演習室等の面積

(表5)

校 地 ・ 校 舎				講義室・演習室等	
校地面積 (m ²)	設置基準上必要校地面積 (m ²) *注1	校舎面積 (m ²) *注2	設置基準上必要校舎面積 (m ²) *注1	講義室・演習室・学生自習室総数 *注3	講義室・演習室・学生自習室総面積 (m ²)
50,218m ²	19,200m ²	32,528m ²	8659.6m ²	97	5,405m ²

[注] 1 「設置基準上必要校地面積 (m²)」「設置基準上必要校舎面積 (m²)」は、大学設置基準第37条、第37条の2 (別表第3イ～ハ) を参考に算出し、ご記入ください。その際の収容定員数は、2015 (平成27) 年5月1日現在を基準日としてください。また、新たに学部・研究科を設置した場合などは、平成15年3月31日文科科学省告示第44号に基づき、段階的な整備を踏まえて算出してください。

- 校舎面積に算入できる施設としては、講義室、演習室、学生自習室、実験・実習室、研究室、図書館 (書庫、閲覧室、事務室)、管理関係施設 (学長室、応接室、事務室 (含記録庫)、会議室、受付、守衛室、宿直室、倉庫)、学生集会所、食堂、廊下、トイレなどが挙げられます。
- 講堂を講義室に準じて使用している場合は「講義室・演習室・学生自習室総数」に含めても結構です。
- 複数のキャンパスを設置している場合は、キャンパスごとに作表してください。

- 学部の種類：文学関係
- 設置基準上必要校地面積 収容定員1920名×10m²=19200.0m²
- 設置基準上必要校舎面積 (収容定員1920名－800名) ×1322÷400+4958=8659.6m²

V 財 務

1-1 事業活動収支計算書関係比率・消費収支計算書関係比率（法人全体） ※私立大学のみ

（表6）

	比 率	算 式 (*100) ①	算 式 (*100) ②	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	備 考
1	人 件 費 比 率	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{経 常 収 入}}$	% 61.7	% 63.5	% 64.2	% 61.2%	% 63.0%	
2	人 件 費 依 存 率	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{学 生 生 徒 等 納 付 金}}$	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{学 生 生 徒 等 納 付 金}}$	93.6	95.4	95.4	93.7%	93.0%	
3	教 育 研 究 経 費 比 率	$\frac{\text{教 育 研 究 経 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	$\frac{\text{教 育 研 究 経 費}}{\text{経 常 収 入}}$	29.5	28.2	28.0	27.5%	28.1%	
4	管 理 経 費 比 率	$\frac{\text{管 理 経 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	$\frac{\text{管 理 経 費}}{\text{経 常 収 入}}$	5.9	7.0	6.4	6.0%	6.1%	
5	借 入 金 等 利 息 比 率	$\frac{\text{借 入 金 等 利 息}}{\text{帰 属 収 入}}$	$\frac{\text{借 入 金 等 利 息}}{\text{経 常 収 入}}$	0.0	0.0	0.0	0.0%	0.0%	
6	事 業 活 動 収 支 差 額 比 率 （ 帰 属 収 支 差 額 比 率 ）	$\frac{\text{帰 属 収 入} - \text{消 費 支 出}}{\text{帰 属 収 入}}$	$\frac{\text{基 本 金 組 入 前 当 年 度 収 支 差 額}}{\text{事 業 活 動 収 入}}$	2.8	1.0	1.4	5.3%	7.9%	
7	事 業 活 動 収 支 比 率 （ 消 費 支 出 比 率 ）	$\frac{\text{消 費 支 出}}{\text{帰 属 収 入}}$	$\frac{\text{事 業 活 動 支 出}}{\text{事 業 活 動 収 入}}$	97.2	99.0	98.6	94.7%	92.1%	
8	基 本 金 組 入 後 収 支 比 率 （ 消 費 収 支 比 率 ）	$\frac{\text{消 費 支 出}}{\text{消 費 収 入}}$	$\frac{\text{事 業 活 動 支 出}}{\text{事 業 活 動 収 入} - \text{基 本 金 組 入 額}}$	123.3	102.6	104.8	99.1%	120.3%	
9	学 生 生 徒 等 納 付 金 比 率	$\frac{\text{学 生 生 徒 等 納 付 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	$\frac{\text{学 生 生 徒 等 納 付 金}}{\text{経 常 収 入}}$	65.9	66.6	67.3	65.3%	67.8%	
10	寄 付 金 比 率	$\frac{\text{寄 付 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	$\frac{\text{寄 付 金}}{\text{事 業 活 動 収 入}}$	8.0	7.8	6.8	6.7%	7.6%	
11	経 常 寄 付 金 比 率	—————	$\frac{\text{教 育 活 動 収 支 の 寄 付 金}}{\text{経 常 収 入}}$					6.1%	
12	補 助 金 比 率	$\frac{\text{補 助 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	$\frac{\text{補 助 金}}{\text{事 業 活 動 収 入}}$	16.6	15.3	15.0	15.5%	15.8%	
13	経 常 補 助 金 比 率	—————	$\frac{\text{教 育 活 動 収 支 の 補 助 金}}{\text{経 常 収 入}}$					14.9%	
14	基 本 金 組 入 率	$\frac{\text{基 本 金 組 入 額}}{\text{帰 属 収 入}}$	$\frac{\text{基 本 金 組 入 額}}{\text{事 業 活 動 収 入}}$	21.1	3.4	5.9	4.4%	23.4%	
15	減 価 償 却 額 比 率	$\frac{\text{減 価 償 却 費}}{\text{消 費 支 出}}$	$\frac{\text{減 価 償 却 額}}{\text{経 常 支 出}}$	14.4	13.5	13.2	13.2%	13.2%	
16	経 常 収 支 差 額 比 率		$\frac{\text{経 常 収 支 差 額}}{\text{経 常 収 入}}$					2.7%	
17	教 育 活 動 収 支 差 額 比 率		$\frac{\text{教 育 活 動 収 支 差 額}}{\text{教 育 活 動 収 入 計}}$					0.3%	

[注] 1 「学校法人会計基準」に基づく財務計算書類中の事業活動収支計算書・消費収支計算書（法人全体のもの）を用いて、表に示された算式により過去5年分の比率を記入してください。

2 2014（平成26）年度以前については、算式①を用いて、2015（平成27）年度以後については、算式②を用いて、比率を算出してください。

3 日本私立学校振興・共済事業団に提出している数値を記載してください。

1-2 事業活動収支計算書関係比率・消費収支計算書関係比率（大学部門） ※私立大学のみ

（表7）

	比 率	算 式 (*100) ① *注2	算 式 (*100) ② *注2	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	備 考
1	人 件 費 比 率	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{経 常 収 入}}$	% 58.6%	% 60.3%	% 60.3%	% 59.0%	% 61.9%	
2	人 件 費 依 存 率	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{学 生 生 徒 等 納 付 金}}$	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{学 生 生 徒 等 納 付 金}}$	74.5%	78.7%	79.1%	76.5%	79.1%	
3	教 育 研 究 経 費 比 率	$\frac{\text{教 育 研 究 経 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	$\frac{\text{教 育 研 究 経 費}}{\text{経 常 収 入}}$	30.8%	29.5%	28.5%	29.0%	30.9%	
4	管 理 経 費 比 率	$\frac{\text{管 理 経 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	$\frac{\text{管 理 経 費}}{\text{経 常 収 入}}$	6.1%	6.1%	6.5%	6.6%	7.0%	
5	借 入 金 等 利 息 比 率	$\frac{\text{借 入 金 等 利 息}}{\text{帰 属 収 入}}$	$\frac{\text{借 入 金 等 利 息}}{\text{経 常 収 入}}$	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
6	事 業 活 動 収 支 差 額 比 率 （ 帰 属 収 支 差 額 比 率 ）	$\frac{\text{帰 属 収 入}-\text{消 費 支 出}}{\text{帰 属 収 入}}$	$\frac{\text{基 本 金 組 入 前 当 年 度 収 支 差 額}}{\text{事 業 活 動 収 入}}$	1.4%	1.2%	1.7%	2.4%	8.0%	
7	事 業 活 動 収 支 比 率 （ 消 費 支 出 比 率 ）	$\frac{\text{消 費 支 出}}{\text{帰 属 収 入}}$	$\frac{\text{事 業 活 動 支 出}}{\text{事 業 活 動 収 入}}$	98.6%	98.8%	98.3%	97.6%	92.0%	
8	基 本 金 組 入 後 収 支 比 率 （ 消 費 収 支 比 率 ）	$\frac{\text{消 費 支 出}}{\text{消 費 収 入}}$	$\frac{\text{事 業 活 動 支 出}}{\text{事 業 活 動 収 入}-\text{基 本 金 組 入 額}}$	101.5%	101.7%	101.7%	98.6%	209.0%	
9	学 生 生 徒 等 納 付 金 比 率	$\frac{\text{学 生 生 徒 等 納 付 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	$\frac{\text{学 生 生 徒 等 納 付 金}}{\text{経 常 収 入}}$	78.6%	76.5%	76.3%	77.1%	78.3%	
10	寄 付 金 比 率	$\frac{\text{寄 付 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	$\frac{\text{寄 付 金}}{\text{事 業 活 動 収 入}}$	3.5%	3.3%	3.5%	3.4%	4.2%	
11	経 常 寄 付 金 比 率	—————	$\frac{\text{教 育 活 動 収 支 の 寄 付 金}}{\text{経 常 収 入}}$					3.2%	
12	補 助 金 比 率	$\frac{\text{補 助 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	$\frac{\text{補 助 金}}{\text{事 業 活 動 収 入}}$	7.4%	7.1%	6.7%	6.8%	9.9%	
13	経 常 補 助 金 比 率	—————	$\frac{\text{教 育 活 動 収 支 の 補 助 金}}{\text{経 常 収 入}}$					6.5%	
14	基 本 金 組 入 率	$\frac{\text{基 本 金 組 入 額}}{\text{帰 属 収 入}}$	$\frac{\text{基 本 金 組 入 額}}{\text{事 業 活 動 収 入}}$	2.9%	2.9%	3.4%	1.1%	56.0%	
15	減 価 償 却 額 比 率	$\frac{\text{減 価 償 却 費}}{\text{消 費 支 出}}$	$\frac{\text{減 価 償 却 額}}{\text{経 常 支 出}}$	10.4%	10.4%	9.6%	9.5%	11.5%	
16	経 常 収 支 差 額 比 率	—————	$\frac{\text{経 常 収 支 差 額}}{\text{経 常 収 入}}$					0.2%	
17	教 育 活 動 収 支 差 額 比 率	—————	$\frac{\text{教 育 活 動 収 支 差 額}}{\text{教 育 活 動 収 入 計}}$					-3.5%	

[注]1 「学校法人会計基準」に基づく財務計算書類中の事業活動収支計算書・消費収支計算書（大学単独のもの）を用いて、表に示された算式により過去5年分の比率を記入してください。

2 2014（平成26）年度以前については、算式①を用いて、2015（平成27）年度以後については、算式②を用いて、比率を算出してください。

3 日本私立学校振興・共済事業団に提出している数値を記載してください。

2 貸借対照表関係比率 ※私立大学のみ

(表8)

	比 率	算 式 (*100) ① *注3	算 式 (*100) ② *注3	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	備 考
1	固定資産構成比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	% 61.4%	% 60.3%	% 59.8%	% 58.1%	% 93.2%	
2	流動資産構成比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$	38.6%	39.7%	40.2%	41.9%	6.8%	
3	固定負債構成比率	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総資金*注2}}$	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総負債+純資産}}$	6.8%	6.7%	6.7%	6.5%	5.4%	
4	流動負債構成比率	$\frac{\text{流動負債}}{\text{総資金}}$	$\frac{\text{流動負債}}{\text{総負債+純資産}}$	4.9%	5.2%	5.3%	5.1%	19.6%	
5	純資産構成比率 (自己資金構成比率)	$\frac{\text{自己資金*注2}}{\text{総資金}}$	$\frac{\text{純資産}}{\text{総負債+純資産}}$	88.3%	88.1%	87.9%	88.3%	75.0%	
6	繰越収支差額構成比率 (消費収支差額構成比率)	$\frac{\text{消費収支差額}}{\text{総資金}}$	$\frac{\text{繰越収支差額}}{\text{総負債+純資産}}$	-1.8%	-2.2%	-2.5%	-2.2%	-10.3%	
7	固 定 比 率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資金}}$	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産}}$	53.2%	51.6%	50.5%	48.5%	96.9%	
8	固定長期適合率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資金+固定負債}}$	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産+固定負債}}$	49.4%	47.9%	46.9%	45.1%	90.4%	
9	流 動 比 率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	604.1%	573.4%	559.3%	599.8%	27.1%	
10	総 負 債 比 率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	15.2%	15.8%	16.3%	15.9%	32.0%	
11	負 債 比 率	$\frac{\text{総負債}}{\text{自己資金}}$	$\frac{\text{総負債}}{\text{純資産}}$	13.2%	13.5%	13.7%	13.2%	33.3%	
12	前 受 金 保 有 率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	125.8%	107.4%	85.7%	103.0%	113.6%	
13	退職給与引当特定資産保有率 (退職給与引当預金率)	$\frac{\text{退職給与引当特定預金(資産)}}{\text{退職給与引当金}}$	$\frac{\text{退職給与引当特定資産}}{\text{退職給与引当金}}$	95.3%	98.6%	98.6%	98.5%	98.4%	
14	基 本 金 比 率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	99.4%	99.5%	99.2%	99.5%	84.6%	
15	減 価 償 却 比 率	$\frac{\text{減価償却累計額(図書を除く)}}{\text{減価償却資産取得価格(図書を除く)}}$	$\frac{\text{減価償却累計額(図書を除く)}}{\text{減価償却資産取得価格(図書を除く)}}$	71.6%	74.1%	75.1%	77.3%	71.4%	

[注] 1 「学校法人会計基準」に基づく財務計算書類中の貸借対照表を用いて、表に示された算式により過去5年分の比率を記入してください。

2 「総資金」は総負債+基本金+消費収支差額を、「自己資金」は基本金+消費収支差額をあらわします。

3 2014(平成26)年度以前については、算式①を用いて、2015(平成27)年度以後については、算式②を用いて、比率を算出してください。

4 日本私立学校振興・共済事業団に提出している数値を記載してください。

2017（平成29）年度「大学評価」申請用
大学データ集（参考）（様式）

目 次

ページ数

I 教員・教員組織		
1	(表2) 専任教員年齢構成	参考-1
2	(表3) 専任教員の担当授業時間	参考-2
3	(表4) 専任教員の給与	参考-3
II 教育内容・方法・成果		
1	(表6) 単位互換協定に基づく単位認定の状況	参考-4
2	(表7) 単位互換協定以外で大学独自に行っている単位認定の状況	参考-5
3	(表8) 卒業判定	参考-6
4	(表9) 大学院における学位授与状況	参考-7
5	(表10) 就職・大学院進学状況	参考-9
6	(表11) 国家試験合格率	参考-10
7	(表12) 公開講座の開設状況	参考-11
8	(表13) 学生の国別国際交流	参考-12
9	(表14) 教員・研究者の国際学術研究交流	参考-13
III 学生の受け入れ		
1	(表15) 学部・学科の退学者数	参考-14
IV 学生支援		
1	(表16) 奨学金給付・貸与状況	参考-15
2	(表17) 学生相談室利用状況	参考-17
V 教育研究等環境		
1	(表18) 専任教員の教育・研究業績	参考-18
2	(表19) 専任教員の教育・研究業績 (芸術分野や体育実技等の分野を担当する教員)	参考-20
3	(表20) 専任教員の研究費 (実績)	参考-21
4	(表21) 専任教員の研究旅費	参考-22
5	(表22) 学内共同研究費	参考-23
6	(表23) 教員研究費内訳	参考-24
7	(表24) 科学研究費の採択状況	参考-25
8	(表25) 学外からの研究費の総額と一人当たりの額	参考-26
9	(表26) 教員研究室	参考-27
10	(表27) 主要施設の概況	参考-28
11	(表28) 学部・研究科ごとの講義室、演習室等の面積・規模	参考-29
12	(表29) 学部・研究科ごとの学生用実験・実習室の面積・規模	参考-30
13	(表30) 学部・研究科ごとの規模別講義室・演習室使用状況一覧表	参考-31
14	(表31) 図書、資料の所蔵数及び受け入れ状況	参考-32
15	(表32) 図書館利用状況	参考-33
16	(表33) 学生閲覧室等	参考-34
VI 管理運営・財務		
1	(表34) 事務組織	参考-35
VII 内部質保証		
1	(表35) 財政公開状況 (私立大学のみ)	参考-36

2 専任教員年齢構成

学科別専任教員の構成(2016年5月1日現在)

※学長を除く

(表2)

	教員数	教授	准教授	専任講師	男	女	外国人	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～68歳
文学部	英語英文学科	10	7	1	2	8	1		3	5	2
	日本語日文学科	7	5	1	1	4		1	2	3	1
	史学科	9	7	1	1	8		1		4	4
	人間関係学科	7	5	2	0	3	4		2	2	3
	国際交流学科	11	5	6	0	6	5	1	2	3	3
	哲学科	7	4	1	2	5	2		1	1	4
	教育学科	12	10	1	1	7	5			2	7
	心理学科	8	4	3	1	5	3		1	2	2
大学合計	71	47	16	8	40	31	2	6	15	30	20

(定年68歳)

3 専任教員の担当授業時間

文学部 (65人) ※学長及び研修年適用者5名、育児休暇取得者1名を除く

(表3)

区分 \ 教員	教授	准教授	講師	助教	備考
最高	29.0 授業時間	19.0 授業時間	13.0 授業時間		1 授業時間 45分
最低	6.0 授業時間	10.0 授業時間	8.0 授業時間		
平均	12.9 授業時間	13.7 授業時間	10.8 授業時間		
責任授業時間数	(8.0 授業時間)	(8.0 授業時間)	(8.0 授業時間)		

- [注] 1 学部、大学院研究科（及びその他の組織）の専任教員について、所属組織ごとに作成してください。本表においては、担当授業時間数が「0」となる専任教員（例：サバティカル等による）は、本表には含めず、注書きを付してください。（記入例：※1「サバティカル取得中の教授1人を除く」）
- 2 専任教員が当該大学において担当する1週間の最高、最低及び総平均授業時間を記載してください。
 - 3 「備考」欄に1授業時間が何分であることを記入してください。ここでいう授業時間とはいわゆるコマではないので、1コマ90分の場合は、45分と記入してください。
 - 4 専任の教授、准教授、講師、助教の1週間の責任授業時間数等の規定が無い場合は、「責任授業時間数」欄には「-」を記入してください。
 - 5 担当授業時間が特に多い教員、または特に少ない教員がいる場合において、何らかの事由がある時は、そのことを欄外に付記してください。
 - 6 開設されてはいるものの、履修者のいない科目についても上表に含めてください。

[本学としての注記]

教授で担当授業時間が特に多い教員については、学部および大学院の専攻における基礎分野科目を受け持っているためである。

また、授業時間数の特に少ない教員については、併任管理職業務を担当しているためである。

4 専任教員の給与

(表4)

学部・研究科		専任教員俸給額(年収) (円)			
		教授	准教授	講師	助教
文学部	最低	6,513,780	9,571,633	9,060,279	-
	平均	13,065,277	10,469,193	9,605,760	-

[注] 1 2014年1月から12月の1年間を対象として作成してください。

2 年収は、諸手当を含めた前年の支給総額を記入してください。

3 「最低」「平均」の記入にあたっては、上記1の期間途中での採用及び退職者は除いてください。

2 単位互換協定に基づく単位認定の状況

(表6)

学部・学科		認定者数 (A)	他大学		短期大学		1人当たり 平均認定 単位数 (B+C) / A
			認定単位数 (B)		認定単位数 (C)		
			専門科目	専門以外	専門科目	専門以外	
文学部	英語英語英文学科	4	46	18	0	0	16.0
	日本語日本文学科	0	0	0	0	0	0.0
	歴史社会学科	13	197	14	0	0	16.2
	史学科	0	0	0	0	0	0.0
	人間関係学科	1	2	0	0	0	2.0
	国際交流学科	0	0	0	0	0	0.0
	哲学科	3	40	10	0	0	16.7
	教育学科 (教育・心理学専攻)	2	0	4	0	0	2.0
	教育学科 (教育学専攻)	0	0	0	0	0	0.0
	教育学科 (初等教育学専攻)	1	0	2	0	0	2.0
	心理学科	0	0	0	0	0	0.0
計		24	285	48	0	0	13.9
文学研究科	英語英文学専攻	3	14	0	0	0	4.7
	人間科学専攻	1	4	0	0	0	4.0
計		4	18	0	0	0	4.5
合計		28	303	48	0	0	12.5

[注] 1 他大学または短期大学との単位互換協定に基づき単位認定を行っているものを記載してください。

2 2015年度の実績を記入してください。

3 単位互換協定以外で大学独自に行っている単位認定の状況

(表7)

学部・学科		認定者数 (A)	大学・短大・高専等		その他		1人当たり平均 認定単位数 (B+C) / A
			認定単位数 (B)		認定単位数 (C)		
			専門科目	専門以外	専門科目	専門以外	
文学部	基礎課程	8	0	16	0	0	2.0
	英語英語英文学科	7	0	14	0	0	2.0
	日本語日本文学科	3	0	6	0	0	2.0
	歴史社会学科	4	0	8	0	0	2.0
	史学科	3	0	6	0	0	2.0
	人間関係学科	5	0	10	0	0	2.0
	国際交流学科	11	0	22	0	0	2.0
	哲学科	4	0	8	0	0	2.0
	教育学科 (教育・心理学専攻)	2	0	4	0	0	2.0
	教育学科 (教育学専攻)	2	0	4	0	0	2.0
	教育学科 (初等教育学専攻)	6	0	12	0	0	2.0
	心理学科	7	0	14	0	0	2.0
計		62	0	124	0	0	2.0
合計		62	0	124	0	0	2.0

- [注] 1 原則として、入学設置基準第29条及び第30条で規定された「入学以外の教育施設等における学修」と「入学者の既修単位数等の認定」に該当するものを記載してください。
- 2 「大学・短大・高専等」欄には、入学、短期入学者または高等専門学校等の専攻科における学修を、「その他」欄には、「入学設置基準第29条第1項の相定により、大学が単位を互換することのできる学修を定める件」(平成19年文部科学省告示第146号)に定められた学修を記載してください。
- 3 2015年度の実績を記入してください。
- 4 編入学生については、本表に含めないでください。

4 卒業判定

(表8)

学部・学科		2013年度			2014年度			2015年度		
		卒業予定者 (A)	合格者 (B)	合格率(%) B/A*100	卒業予定者 (A)	合格者 (B)	合格率(%) B/A*100	卒業予定者 (A)	合格者 (B)	合格率(%) B/A*100
文学部	英語英文学科	94	85	90.43	109	98	89.91	117	104	88.89
	日本語日本文学科	60	51	85.00	61	53	86.89	62	53	85.48
	歴史社会学科	217	200	92.17	204	193	94.61	202	191	94.55
	哲学科	60	57	95.00	51	47	92.16	46	42	91.30
	教育学科	143	136	95.10	145	135	93.10	139	127	91.37
計		574	529	92.16	570	526	92.28	566	517	91.34

[注] 「卒業予定者」とは、毎年度5月1日における当該学部の最終学年に在籍する学生を指します。

5 大学院における学位授与状況

(表9)

研究科・専攻			2011年度		2012年度		2013年度		2014年度		2015年度		備考
			修了予定者数	学位授与者数	修了予定者数	学位授与者数	修了予定者数	学位授与者数	修了予定者数	学位授与者数	修了予定者数	学位授与者数	
文学研究科	英語英文学専攻	修士博士(前期)	1	1	1	1	2	1	2	1	6	3	
		博士(課程)	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
		博士(論文)	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
		専門職学位	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	日本語日本文学専攻	修士博士(前期)	6	4	5	3	4	2	4	2	2	1	
		博士(課程)	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
		博士(論文)	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
		専門職学位	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	史学専攻	修士博士(前期)	7	5	10	7	6	3	3	3	2	0	
		博士(課程)	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
		博士(論文)	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
		専門職学位	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	社会文化学専攻	修士博士(前期)	3	3	3	2	3	2	3	2	1	1	
		博士(課程)	1	0(0)	3	0	0	0	1	0	2	0	2006年4月1日開設 ()は学位規定第4章第15条第7項による授与件数
		博士(論文)	/	—	/	—	/	—	/	—	/	—	
		専門職学位	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	

研究科・専攻			2011年度		2012年度		2013年度		2014年度		2015年度		備考
			修了予定者数	学位授与者数	修了予定者数	学位授与者数	修了予定者数	学位授与者数	修了予定者数	学位授与者数	修了予定者数	学位授与者数	
文学研究科	哲学専攻	修士博士(前期)	3	2	1	1	3	2	5	4	3	3	
		博士(課程)	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
		博士(論文)	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
		専門職学位	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	人間科学専攻	修士博士(前期)	16	10	14	12	8	7	7	7	5	4	
		博士(課程)	2	0(0)	3	1	1	1	1	1	1	0	()は学位規定第4章第15条第7項による授与件数
		博士(論文)	/	—	/	—	/	—	/	—	/	—	
		専門職学位	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	人文学専攻	修士博士(前期)	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
		博士(課程)	5	0(0)	8	3(2)	4	1(1)	4	1	8	1(1)	()は学位規定第4章第15条第7項による授与件数
		博士(論文)	/	—	/	—	/	—	/	—	/	—	
		専門職学位	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	

- [注] 1 「修了予定者」欄には、留年者も含め、当該年度修了予定の在籍学生数を記入してください。
2 当該研究科もしくは専攻、課程が最近開設され、そのために学位授与該当者がいない場合は、備考欄にその開設年月日を記載してください。

6 就職・大学院進学状況

(表10)

学 部	進 路	2013年度	2014年度	2015年度	
文学部	就職	民間企業	382	400	420
		官公庁	11	10	8
		教員	30	33	26
		上記以外	—	—	—
	進学	自大学院	7	16	7
		他大学院	16	20	13
		上記以外	22	10	9
	そ の 他	61	37	34	
	合 計	529	526	517	

- [注] 1 「その他」欄には、当該学部の各年度の卒業者のうち、就職、進学のいずれにも該当しないもののすべての数を記入してください。
- 2 専門学校教員、日本語教師、NGO団体、国際機関等への就職については、「就職（上記以外）」の欄に記入してください。
- 3 専門学校への進学は、「進学（上記以外）」欄に記入してください。

該当無し

7 国家試験合格率

(表11)

学 部・学 科	国家試験の名称	受験者数 (A)	合格者数 (B)	合格率 (%) B/A*100

8 公開講座の開設状況

(表12)

大学 研究	学部 科	年間開設講座数(A)			募集人員(延べ数)			参加者(延べ数)(B)			1講座当たりの 平均受講者数 B/A			備 考
		2013年度	2014年度	2015年度	2013年度	2014年度	2015年度	2013年度	2014年度	2015年度	2013年度	2014年度	2015年度	
聖心女子大学	文学部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2013～2015年度は 講演会形式にて実施
計		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

[注] 1 ここでの公開講座とは、大学が社会人などを対象に開講する授業や、授業に匹敵する内容の講座です。

2 シンポジウム、講演会は含めないでください。

9 学生の国別国際交流

(表13)

国名 学部・研究科	大韓民国		台湾		アメリカ合衆国		フランス		イギリス		その他		合計		
	派遣	受け入れ	派遣	受け入れ	派遣	受け入れ	派遣	受け入れ	派遣	受け入れ	派遣	受け入れ	派遣	受け入れ	
文学部	3	3	2	3	1	0	4	1	0	0	6	9	16	16	
計	3	3	2	3	1	0	4	1	0	0	6	9	16	16	

ドイツ:3

- [注] 1 交流協定を締結している海外の大学との状況を中心に、主だった5カ国とその他に分けて記載してください。
 2 学部・大学院研究科ごとに、国別に派遣・受け入れ学生数を記入してください。
 3 2016年5月1日現在で、6カ月以上の期間を要する学生数とします。

10 教員・研究者の国際学術研究交流

(表14)

学部・研究科等		派 遣						受 け 入 れ					
		2013年度		2014年度		2015年度		2013年度		2014年度		2015年度	
		短 期	長 期	短 期	長 期	短 期	長 期	短 期	長 期	短 期	長 期	短 期	長 期
文 学 部	新規	2	-	7	-	5	-	-	-	-	-	-	-
	継続	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	新規	2	-	7	-	5	-	-	-	-	-	-	-
	継続	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

- [注] 1 派遣、受け入れとも、1年未満のものを「短期」とし、それ以上を「長期」としてください。
- 2 各派遣者及び受け入れ者について、派遣及び受け入れが複数年度にわたる場合、初年度については「新規」欄に、次年度以降は「継続」欄に人数を記入してください。
- 3 旅費・滞在費等の経費負担が私費によるものも含め、全ての派遣者及び受け入れ者について記入してください。

Ⅲ 学生の受け入れ

1 学部・学科の退学者数

(表15)

学部	学科	2013年度					2014年度					2015年度				
		1年次	2年次	3年次	4年次	合計	1年次	2年次	3年次	4年次	合計	1年次	2年次	3年次	4年次	合計
文学部	基礎課程	4	-	-	-	4	8	-	-	-	8	8	-	-	-	8
	外国語外国文学科(※)	-	-	-	1	1	-	-	-	-	0	-	-	-	-	0
	英語英文学科(※)	-	-	2	3	5	-	1	3	1	5	-	1	-	1	2
	日本語日本文学科	-	-	-	1	1	-	-	1	3	4	-	1	1	4	6
	哲学科	-	-	-	1	1	-	-	2	3	5	-	-	-	-	0
	歴史社会学科	-	2	2	4	8	-	-	1	3	4	-	-	-	-	0
	教育学科	-	-	-	-	0	-	-	-	1	1	-	-	-	5	5
	心理学科	-	-	-	-	0	-	-	-	-	0	-	1	-	-	1
合計		4	2	4	10	20	8	1	7	11	27	8	3	1	10	22

[注] 1 退学者数には、除籍者も含めてください。

2 修業年限を6年とする学部・学科の場合には、第6年次まで作表してください。

※学科名称変更に伴い、平成19年度以降入学者は、「英語英文学科」、平成18年度以前入学者は「外国語外国文学科」に所属。

IV 学生支援

1 奨学金給付・貸与状況

(表16)

	奨学金の名称	学内・学外の別	給付・貸与の別	支給対象学生数(A)	在籍学生総数(B)	在籍学生数に対する比率 A/B*100	支給総額(C)	1件当たり支給額 C/A
学部・大学院共通	東日本大震災の被災学生に対する学費減免	学内	給付	7	2,244	0.3%	3,460,000	494,286
文学部	聖心女子大学奨学金(学部)(新入生)	学内	貸与	1	526	0.2%	325,000	325,000
	聖心女子大学奨学金(学部)(2~4年生)	学内	貸与	7	1,666	0.4%	4,220,000	602,857
	聖心女子大学姉妹校推薦入学奨学金(新入生) 注①	学内	給付	10	526	1.9%	3,250,000	325,000
	聖心女子大学姉妹校推薦入学奨学金(2~4年生)	学内	給付	33	1,666	2.0%	10,725,000	325,000
	一般入試(3教科方式)成績優秀者奨学金 注②	学内	給付	2	526	0.4%	650,000	325,000
	聖心女子大学振興基金奨学金(2年次生)	学内	給付	3	567	0.5%	975,000	325,000
	聖心女子大大学特別奨学金(3年次生)	学内	給付	3	530	0.6%	975,000	325,000
	宮代会特別奨学金(次年度4年生対象)	学外	給付	3	569	0.5%	1,500,000	500,000
	聖心女子大学修学支援奨学金(1~4年次生)	学内	給付	5	2,192	0.2%	1,625,000	325,000
	エリザベス・ブリット基金奨学金(2~4年生対象)	学外	給付	2	1,666	0.1%	1,300,000	650,000
	日本学生支援機構奨学金 第一種	学外	貸与	143	2,192	6.5%	94,944,000	663,944
	日本学生支援機構奨学金 第二種	学外	貸与	244	2,192	11.1%	225,360,000	923,607
	長崎県育英会	学外	貸与	1	2,192	0.0%	564,000	564,000
	岡田甲子男記念奨学財団奨学金	学外	貸与	0	2,192	0.0%	600,000	#DIV/0!
	新潟県奨学金	学外	貸与	0	2,192	0.0%		-
あしなが育英会	学外	貸与	2	2,192	0.1%	1,080,000	540,000	
青森県教育厚生会	学外	貸与	1	2,192	0.0%	500,000	500,000	

大学院文学研究科	聖心女子大学奨学金（院）	学内	貸与	0	52	0.0%		-
	聖心女子大学大学院特別奨学金	学内	給付	13	52	25.0%	5,980,000	460,000
	宮代会奨学金	学外	給付	2	52	3.8%	940,000	470,000
	日本学生支援機構奨学金 第一種	学外	貸与	2	52	3.8%	1,656,000	828,000
	日本学生支援機構奨学金 第二種	学外	貸与	1	52	1.9%	1,200,000	-
	日本カトリック学術奨励金「研究奨励賞」	学外	給付	0	52	0.0%		-
留學関係	聖心女子大学外国人留学生特別奨学金（学部）	学内	給付	10	28	35.7%	3,250,000	325,000
	聖心女子大学外国人留学生授業料減免（学部）	学内	給付	29	28	103.6%	9,425,000	325,000
	私費外国人留学生等学習奨励費（学部）	学外	給付	3	28	10.7%	1,728,000	576,000
	私費外国人留学生等学習奨励費（院）	学外	給付	1	1	100.0%	576,000	576,000
	国費外国人留学生	学外	給付	0	0	0.0%		-

[注] 1 2015年度実績をもとに作表してください。

2 学部・大学院共通、学部対象、大学院対象の順に作成してください。

3 当該奨学金が学部学生のみを対象とする場合は、「在籍学生総数」欄には学部学生の在籍学生総数を、大学院学生のみを対象とする場合は、大学院の在籍学生総数を記載してください。

4 日本学生支援機構による奨学金も記載してください。

[本学としての注記]

注① 聖心女子大学姉妹校推薦入学奨学金（給付）

姉妹校推薦入試の成績優秀な学生10名に対し、授業料の半額相当額（325,000円）を4年間給付する制度

注② 一般入試（3教科方式）成績優秀者奨学金（給付）

一般入試（3教科方式）成績上位10名に対し、授業料の半額相当額（325,000円）を4年間給付する制度

在籍学生総数（B）について、それぞれの奨学金の対象とする学年・人数を記入した。

2 学生相談室利用状況

(表17)

施設の名称	室長 教員	専任 スタッフ 数	非常勤 スタッフ 数	週当たり 開室日数	年間 開室日数	開室時間	年間相談件数			備 考
							2013年度	2014年度	2015年度	
学生相談室	1名	1名	5名	5名	242日	10:30	1814件	1942件	1921件	

[注] 1 専任、非常勤ごとに、スタッフの種類（医師、資格を持ったカウンセラー、教員、職員等）を備考欄または欄外に記載してください。

2 年間相談件数は、延べ数を記載してください。

1. スタッフの種類

室長	教員	臨床心理士	1名
専任	臨床心理士		1名
非常勤	臨床心理士		5名

V 教育研究等環境

1 専任教員の教育・研究業績
別途HPに掲載済み。

(表18)

所属	職名	氏名	大学院における研究指導担当 資格の有無 (有・無)		
I 教育活動					
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要		
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)					
2 作成した教科書、教材、参考書					
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等					
4 その他教育活動上特記すべき事項					
II 研究活動					
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月 (西暦でも可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
著書					
〇〇〇〇〇	単著	平成16年3月	△△社		250頁
〇〇〇〇〇	共著	平成17年4月	△△△△出版	◎××××、×××× ××××	120頁～165頁
論文					
〇〇〇〇〇〇〇〇〇	単著	平成18年2月	△△△学会誌 (第10巻第2号)		16頁～43頁

○○○○○○○○○○	単著	同 年12月	Journal of △△ vol. 21 No. 3		121頁～139頁
○○○○○○○○○○	共著	平成19年 3月	『△△研究』△△出版	××××、××××	83頁～134頁
III 学会等および社会における主な活動					
平成13年 4月～平成19年12月	○○学会理事				

- [注] 1 学部、大学院研究科（及びその他の組織）の専任教員について、所属組織ごとに別個に作成してください。
- 2 各教員ごとに最近5年間の教育活動、研究活動、学会等および社会活動について作成してください。
- 3 「教育活動」については、各項目ごとに年月日順に、「学会等および社会活動」については、就任年月日順に記入してください。
- 4 「研究活動」については、下記の点に留意してください。
- ① 著書・論文及びその他の順に、発表年月日順に記入してください。
 - ② 著者が複数にわたる場合で、筆頭著者が著書・論文等において明示されている場合には、その氏名に◎印を付してください。
 - ③ 共著（論文）の場合、「該当頁数」の記入にあたっては、本人の分担箇所を特定できる場合は、その頁数を記載してください。
 - ④ 最近5年間に著書・論文等の発表のなかった者についても、教員名を挙げてその部分を空欄にしておいてください。

2 専任教員の教育・研究業績（芸術分野や体育実技等の分野を担当する教員）
 別途HPに掲載済み。

(表19)

		所属	職名	氏名	
展覧会・演奏会・競技会等の名称	場 所	開催日時	発表・展示等の内容等		

3 専任教員の研究費

(表20)

学部・研究科等	総額 (A)	総額 (B) (除、講座・研究室等の 共同研究費)	専任教員数 (C)	教員1人 当たりの額 ① (A/C)	教員1人 当たりの額 ② (B/C)	備考
文学部	208,614,260	27,845,480	69	3,023,395	403,558	
計	208,614,260	27,845,480	69	3,023,395	403,558	

- [注] 1 2015年度の実績をもとに作表してください。したがって「専任教員数」欄にも、2014年度の人数（助手を除く）を記入してください。
- 2 研究費総額（A）には、学科、研究室等ごとに支給される研究費も含めて記入してください。ただし、間接経費（水道光熱費、人件費等）は除いてください。また、競争的な研究費も含めないでください。
- 3 研究費総額（B）には、講座研究費、個人研究費等の名称は問わず、教員個人が専らその研究の用に充てるために支給される経常的経費（図書購入費、機器備品費、研究用消耗品費、アルバイトなどへの謝金等）を記入してください。

4 専任教員の研究旅費

(表21)

学部・研究科等		国外留学		国内留学		学会等出張旅費		備 考
		長期	短期	長期	短期	国外	国内	
文 学 部	総 額	-	-	-	-	14,204,519	6,459,109	1. 在外研究（原則）
	支 給 件 数	-	-	-	-	40	124	①空運賃250,000円（上限）の実費、 ②日当月170,000円
	総 額	-	-	-	-	-	-	2. 学会出張回数（原則）
	支 給 件 数	-	-	-	-	-	-	①国内（年間2回、学会発表を含めると3回）
計	総 額	-	-	-	-	14,204,519	6,459,109	②海外（学会発表を条件に年間1回）
	支 給 件 数	-	-	-	-	40	124	

[注] 1 2015年度の実績をもとに作表してください。

2 教員研究旅費には、前表「3 専任教員の研究費（実績）」は含めないでください。

3 それぞれの研究旅費の支給条件（例えば、受給資格、支給額の上限等）を備考欄に注記してください。

4 留学の「長期」とは、1年以上のものをいい、1年未満を「短期」とします。

5 学内共同研究費

(表22)

大学・学部・大学院研究科等	総 額	利用件数	備 考
文学部	3,000,000	1	
計	3,000,000	1	

- [注] 1 2015年度の実績を記入してください。
- 2 ここでいう「学内共同研究費」とは、予算上措置されている研究費で、個人研究・共同研究を問わず、申請に基づき審査を経て交付される競争的な研究費（いわゆる学内科研費）を指します。
- 3 研究費に旅費が含まれている場合、これを除く必要はありません。
- 4 総額の合計は、教員研究費内訳（表23）中の学内共同研究費の合計と一致します。

6 教員研究費内訳

(表23)

学部・研究科等	研究費の内訳	2013年度		2014年度		2015年度		
		研究費 (円)	研究費総額に対する割合 (%)	研究費 (円)	研究費総額に対する割合 (%)	研究費 (円)	研究費総額に対する割合 (%)	
文学部	研究費総額	275,416,300	100%	263,981,300	100%	263,535,287	100%	
	学内	経常研究費 (教員当り積算校費総額)	250,195,000	90.8%	233,638,000	88.5%	230,170,545	87.3%
		学内共同研究費	—	—	—	—	—	—
		その他	—	—	—	—	—	—
	学外	科学研究費補助金	25,221,300	9.2%	30,343,300	11.5%	32,961,048	12.5%
		政府もしくは政府関連法人からの研究助成金	—	—	—	—	—	—
		民間の研究助成財団等からの研究助成金	—	—	—	—	—	—
		奨学寄附金	—	—	—	—	—	—
		受託研究費	—	—	—	—	—	—
		共同研究費	—	—	—	—	403,694	0.2%
その他		—	—	—	—	—	—	

[注] 1 学内研究費の「その他」欄には、(表20)の(A)+(表21)の計、経常研究費、(表22)でいう学内共同研究費以外に該当するものがある場合は記入してください。

7 科学研究費の採択状況

(表24)

学部・研究科等	科 学 研 究 費											
	2013年度			2014年度			2015年度			2016年度		
	申請件数 (A)	採択件数 (B)	採択率(%) B/A*100	申請件数 (A)	採択件数 (B)	採択率(%) B/A*100	申請件数 (A)	採択件数 (B)	採択率(%) B/A*100	申請件数 (A)	採択件数 (B)	採択率(%) B/A*100
文学部	7	4	57.1	9	4	44.4	11	6	54.5	10	5	50.0
計	7	4	57.1	9	4	44.4	11	6	54.5	10	5	50.0

[注] 1 教員、助手が専任として配置されている学部、研究科等ごとに記入してください。

2 採択件数には、当該年度新規に採択された件数のみをあげ、前年度からの継続分は含めないでください。

8 学外からの研究費

(表25)

学部・研究科等	専任 教員数	科学研究費補助金		その他の学外研究費		合 計 (A+B)
		科学研究費補 助金総額 (A)	うちオーバーヘッドの額	その他の学外研究費総額 (B)	うちオーバーヘッドの額	
文学部	69	32,961,048	7,456,395	0	0	32,961,048
合 計	69	32,961,048	7,456,395	0	0	32,961,048

- [注] 1 教員が専任として配置されている学部、研究科等ごとに記入してください。
- 2 2015年度の実績をもとに作表してください。したがって「専任教員数」欄にも、2014年度の人数を記入してください。
- 3 「その他の学外研究費」には、科研費以外の政府もしくは政府関連法人からの研究助成金、民間の研究助成財団等からの研究助成金、奨学寄付金、受託研究費、共同研究費などが該当します。

9 教員研究室

(表26)

学 部 研究科	室 数			総面積 (㎡)	1室当たりの平均面積 (㎡)		専任教員数 (B)	個室率(%) (A/B*100)	教員1人当 たりの平均面積 (㎡)	備 考
	個室(A)	共 同	計		個 室	共 同				
文学部	87	21	109	2,525㎡	20.1	37.1	※ 71	100	24.6㎡	※学長1名を除く
計	87	21	109	2,525㎡	20.1	37.1	※ 71	100	24.6㎡	※学長1名を除く

- [注] 1 「室数」「総面積」欄には、学部、大学院研究科等の保有する全ての教員研究室について記入してください。
- 2 「1室当たりの平均面積」は全ての教員研究室について、「教員1人当たりの平均面積」は学部、大学院研究科等の専任教員が実際に使用している教員研究室について算出してください。
- 3 「個室率」の算出にあたっては、個室数が専任教員数を上回る場合は、原則として100%と記入してください。
- 4 個室を持たない教員については、「備考」欄にその数を記入してください。

10 主要施設の概況

(表27)

施設名	用途	建築年	延床面積(m ²)	備考
1号館	講義室、演習室、研究室、自習室、実験・実習室、学部資料室等	昭和25(1950)年 昭和27(1952)年増築 昭和37(1962)年増築 昭和38(1963)年増築	10,666m ²	
2号館	講義室、演習室、研究室、自習室、実験・実習室、学部資料室等	昭和33(1958)年 昭和40(1965)年増築 昭和59(1984)年増築	5,078m ²	
3号館	講義室、演習室、研究室、自習室、多目的ホール、課外活動施設等	平成10(1998)年	6,327m ²	
4号館	講義室、演習室、研究室、自習室、多目的ホール、課外活動施設等	平成28(2016)年	6,343m ²	
図書館	図書館	昭和50(1975)年	2,741m ²	
マリアンホール	講堂・会議室	昭和29(1954)年	1,849m ²	
体育館	体育館	昭和55(1980)年	1,442m ²	

[注] 1 「財産目録」記載のうち、教育研究活動に使用されている主要な建物について記載してください。

2 上記、施設の大規模な改築や改修計画がある場合は、備考欄にその旨記入してください。

11 学部・研究科ごとの講義室、演習室等の面積・規模

(表28)

学部・研究科等	講義室・演習室 学生自習室等	室数	総面積(m ²) (A)	専用・共用 の別	収容人員 (総数)	利用学生 総数 (B)	利用学生1人当 り面積(m ²) (A/B)	備考
文学部	講義室	37	3,458m ²	専用	3,219	2,220	1.56m ²	
	演習室	19	523m ²	共用	302	2,220	0.24m ²	文学研究科(学生数56) と共用
	学生自習室	14	490m ²	専用	177	2,220	0.22m ²	
文学研究科	講義室	0		—	0			
	演習室	1	38m ²	専用	10	44		
	学生自習室	24	485m ²	専用	145	44		
	体育館	1	1,442m ²	専用				
	講堂	1	864m ²	共用	1,000			

[注] 1 学部、大学院研究科ごとに記載してください。

- 2 当該施設を複数学部、研究科、短期大学等が共用している場合には、当該学部・大学院研究科専用の施設とは別個に記載し、「専用・共用の別」欄にその旨を明記するとともに、「利用学生総数」欄にも共用する学部、研究科、短期大学等の学生を含めた数値を記入してください。
- 3 キャンパスごとに施設を共用している場合は、「学部・研究科等」欄にキャンパス名を記入してください。
- 4 全学で全ての施設を共用している場合は、「学部・研究科等」欄に「全学共通」と記入してください。
- 5 教養教育のための専用施設がある場合は、学部に合わせて記載してください。
- 6 「利用学生1人当たり面積」は、小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位まで記入してください。
- 7 他学部、研究科等と共用で使用している講義室・演習室等の「利用学生1人当たりの面積」の算出に当たっては、当該施設を利用しているすべての学部、研究科の学生数（短期大学と共用している場合は、短期大学の学生数を含む）で総面積を除いて算出してください。

12 学部・研究科ごとの学生用実験・実習室の面積・規模

(表29)

用途別室名	室数	総面積 (m ²)	収容人員 (総数)	収容人員1人当 りの面積(m ²)	使用学部・研究科等	備考
情報処理学習施設	10	830	312	2.7	文学部	
語学学習施設	1	238	52	4.6	文学部	
博物館学芸員実習室	2	42	24	1.8	文学部	
心理学専攻実験室	5	122	38	3.2	文学部	
人間関係専攻実験室	4	155	38	4.1	文学部	
音楽室	1	146	60	2.4	文学部	
ピアノ演習室	5	30	5	6.0	文学部	
造形実習室	1	114	60	1.9	文学部	
家庭科実習室	1	178	20	8.9	文学部	
理科実験室	1	86	36	2.4	文学部	
教育学専攻各種実習室	1	119	32	3.7	文学部	
大学院人間科学実験室	4	76	20	3.8	文学研究科	
計	36	2,136	697	3.1		

[注] 1 原則として学部・研究科ごとにまとめてください。

2 「用途別室名」欄には、その施設の用途が具体的にわかるような名称を記入してください。

3 当該施設を複数の学部・研究科もしくは併設の短期大学と共用している場合は、その学部名等のすべてを「使用学部・研究科等」欄に記載し、本表において同一施設を重複して記載しないでください。

4 語学学習施設・情報処理学習施設、ビデオ・オーディオルームその他の視聴覚教室施設等も、ここに記入してください。

5 教養教育のための施設については「使用学部・研究科等」欄にその旨記入してください。

6 実習室としての機能を備えているものの、講義室・演習室等としての利用が中心である施設については、前表「11 学部・研究科等ごとの講義室・演習室等の面積・規模」の講義室・演習室に含めても構いません。その場合は、当該施設の本表での記載に当たっては、「備考」欄に必ず「【再掲】」と記入してください。

{本学としての注記}

①情報処理学習施設：メディア学習支援センターF、メディア学習支援センターC・D、メディア学習支援センターE、情報管理室、国際交流コンピュータ室、心理コンピュータ室、人間関係コンピュータ室、学習支援センター（含む準備室）、英文メディアルーム（メディア学習支援センターC・Dは2室として計算）

②博物館学芸員実習室：準備室を含む

③教育学各種実習室：2号館4階ワークショップ室

④大学院人間科学実験室：1号館4階心理学実験室（小部屋の心理研究室は大学院自習室として計上）

13 学部・研究科ごとの規模別講義室・演習室使用状況一覧表

(表30)

学 部 名	収 容 人 員	使用教室数	開設総 授業数 (A)	使用度数 (B)	使用率 B/A (%)	備 考
文学部	1 ～ 20	17	660	74	11.2%	
	21 ～ 55	25		275	41.7%	
	56 ～ 100	10		170	25.8%	
	101 ～ 200	7		129	19.5%	
	201 ～ 300	0		0	0.0%	
	301 ～ 400	1		12	1.8%	
計				660	100.0%	
文学研究科	1 ～ 20	17	43	35	81.4%	
	21 ～ 55	25		5	11.6%	
	56 ～ 100	10		3	7.0%	
	101 ～ 200	7		0	0.0%	
	201 ～ 300	0		0	0.0%	
	301 ～ 400	1		0	0.0%	
計				43	100%	

[注] 1 原則として学部・研究科ごとに作成してください。

2 使用教室数は、当該学部の正規の授業として使用している教室数を指し、開設総授業数とは、1週間の総授業科目のうち、講義室・演習室を使用する全ての授業数を示します。なお、使用率は、(使用度数/開設総授業数)により算出してください。例えば、「英語Ⅰ」を、それぞれ週1回3クラス設置している場合、開設総授業数は「3」になります。

3 セメスター制を採用している場合で、使用状況が大きく異なる場合については、セメスターごとに作表してください。

[本学としての注記]

使用教室は、履修登録による当該科目の受講学生数の決定を待つ最終調整を行うため、7月30日付の状況を記載している。

14 図書、資料の所蔵数及び受け入れ状況

(表31)

図書館の名称	図書の冊数 (冊)		定期刊行物の種類 (種類)		視聴覚資料 の所蔵数 (点数)	電子ジャー ナルの種類 (種類)	過去3年間の図書受け入れ状況			備 考
	図書の冊数	開架図書の 冊数(内数)	内国書	外国書			2013年度	2014年度	2015年度	
聖心女子大学 図書館	424,653	424,180	1,422	1,088	6,506	16,643	5,765	4,590	6,196	図書の冊数と図書受け入れ状況に は、製本(B.N.)雑誌を含む。
計	424,653	424,180	1,422	1,088	6,506	16,643	5,765	4,590	6,196	—

[注] 1 雑誌等ですでに製本済みのものは図書の冊数に加えても結構です。

2 視聴覚資料には、マイクロフィルム、マイクロフィッシュ、カセットテープ、ビデオテープ、CD・LD・DVD、スライド、映画フィルム、CD-ROM等を含めてください。

3 電子ジャーナルが中央図書館で集中管理されている場合は、中央図書館にのみ数値を記入し、備考欄にその旨を注記してください。

4 視聴覚資料の所蔵数については、タイトル数を記載してください。

15 図書館利用状況

(表32)

図書館の名称	専任 スタッフ 数	非常勤 スタッフ 数	年間 開館日数	開館時間	年間利用者数(延べ数)			年間貸出冊数			備 考
					2013年度	2014年度	2015年度	2013年度	2014年度	2015年度	
聖心女子大学図書館	3人 (2)	1人 (1)	259日	月～金 9:00～20:00	70,639人 (教員 1,386人 職員 3,505人 学生65,748人)	65,108人 (教員 1,493人 職員 3,464人 学生60,151人)	63,718人 (教員 1,487人 職員 3,619人 学生58,612人)	24,020冊 (教員 1,371冊 職員 501冊 学生22,148冊)	26,320冊 (教員 1,587冊 職員 618冊 学生24,115冊)	20,490冊 (教員 1,528冊 職員 484冊 学生18,478冊)	年間開館日数は 2016年度見込み 日祭日は授業開 講日、オープン キャンパス日の み開館
				土 9:00～17:00							
				日祭日 10:00～18:00							
				長期休暇中 10:00～18:00							
				前後期試験期間前 月～金9:00～21:00							

- [注] 1 スタッフ数は、専任、非常勤ごとに、司書の資格を有するものを（ ）内に内数で記入してください。
- 2 年間利用者数・貸出冊数には、一般開放による地域住民等の人数や冊数は含めないで、学生及び教職員の利用状況を記入してください。
- 3 「開館時間」に上記以外の時間帯がある場合は、作表してください。
- 4 「年間利用者数(延べ数)」および「年間貸出冊数」について、教員・職員・学生の別に内訳を把握している場合は、（ ）内に記入してください。

16 学生閲覧室等

(表33)

図書館の名称	学生閲覧室 座席数(A)	学生収容定員 (B)	収容定員に対する座 席数の割合(%) $A/B * 100$	その他の学習室の座 席数 ()	備 考
聖心女子大学図書館	245席	2,062人	11.9%	101席 (書庫95席、 メディア室6席)	学部：1,950人 大学院：112人
計	245席	2,062人	11.9%	101席 (書庫95席、 メディア室6席)	—

- [注] 1 「学生収容定員」には、学部学生、大学院学生、専攻科、別科の学生収容定員のほか、当該施設を短期大学と共用している場合には、短大の学生収容定員もこの数に加えてください。
- 2 「その他の学習室」の具体的名称を「その他の学習室の座席数」欄のカッコ内に記入一般開放による地域住民等は含めないでください。
- 3 「備考」欄には学生収容定員(B)の内訳を、学部、大学院、専攻科、別科、短期大学ごとに記入してください。

VI 管理運営・財務

(表34)

	部署名	専任職員		常勤嘱託職員	兼務職員	派遣職員	その他	計	
			うち管理職						
法人業務系	事務局長	1	1	-	-	-	-	1	
	小計	1	1	-	-	-	-	1	
	総務部	総務課	7	1	1	-	4	3	15
		情報企画推進課	2	1	1	-	1	9	13
		小計	10	3	2	-	5	12	29
	企画部		5	1	2	-	3	3	13
		小計	5	1	2	-	3	3	13
	経理部		5	1	-	-	1	-	6
		小計	5	1	-	-	1	-	6
	計		21	6	4	-	9	15	49
大学業務系	学務事務部	教務課	8	1	-	-	3	4	15
		入学広報室	6	1	-	-	-	2	8
	小計	14	2	-	-	3	6	23	
	学生事務部	学生生活課	7	2	-	-	2	1	10
		交流連携課	9	2	-	-	3	4	16
		学生相談室	-	-	-	-	-	3	3
		保健センター	2	-	1	-	1	-	4
		小計	18	4	1	-	6	8	33
	学寮部		2	1	1	-	-	9	12
		小計	2	1	1	-	-	9	12
	図書館事務部		3	1	-	-	1	3	7
		小計	3	1	-	-	1	3	7
	キリスト教文化研究所		-	-	-	-	-	3	3
		小計	-	-	-	-	-	3	3
	心理教育相談所		-	-	-	-	-	6	6
		小計	-	-	-	-	-	6	6
	計		37	8	2	-	10	35	84
合計		58	14	6	-	19	50	133	

- [注] 1 それぞれの部署について、業務の内容から「法人業務系」と「大学業務系」に大別して記載してください。
- 2 「専任職員」欄には、期間の定めのない雇用で、常時勤務している職員数を、「常勤嘱託職員」欄には、期間の定めはあるが、専任職員に準じた雇用形態をとっている職員数を、「兼務職員」欄には、雇用期間が6カ月以上の兼務している職員数を、「派遣職員」欄には、労働者派遣契約を締結することにより受け入れている職員数をそれぞれ記入してください。なお、いずれにも該当しない職員には、「その他」欄に記入してください。
- 3 部長・次長など「課」に属さない職員は、「部」でまとめて記入してください。
- 4 部単位に「小計」、各系ごとに「計」を入れ、それぞれ集計してください。
- 5 「助手」は含めないでください。

[本学としての注記] 常勤嘱託職員とその他から、語学指導補助者、カウンセラー、校医、キリスト教文化研究所所員は除いた。

Ⅶ 内部質保証

1 財政公開状況（私立大学用）

（表35）

公開の対象者	公開している 財務諸表及び その解説	公開の方法							開示請求があ れば対応する
		自己点検・ 評価報告書	学内広報誌・ 紙 ※1	大学機関誌・ 紙	財務状況に 関する報告書	学内LAN	ホームページ (Web等) ※2	その他 ()	
教職員	資金収支計算書		○				○		
	消費収支計算書		○				○		
	貸借対照表		○				○		
	財務状況に関する解説		○				○		
	その他（財産目録）						○		
	その他（監事監査報告書）						○		
	その他（事業報告書）						○		
在学生	資金収支計算書		○				○		
	消費収支計算書		○				○		
	貸借対照表		○				○		
	財務状況に関する解説		○				○		
	その他（財産目録）						○		
	その他（監事監査報告書）						○		
	その他（事業報告書）						○		
卒業生	資金収支計算書		○				○		
	消費収支計算書		○				○		
	貸借対照表		○				○		
	財務状況に関する解説		○				○		
	その他（財産目録）						○		
	その他（監事監査報告書）						○		
	その他（事業報告書）						○		
保護者	資金収支計算書		○				○		
	消費収支計算書		○				○		
	貸借対照表		○				○		
	財務状況に関する解説		○				○		
	その他（財産目録）						○		
	その他（監事監査報告書）						○		
	その他（事業報告書）						○		

社会・一般 (不特定多数)	資金収支計算書							○		
	消費収支計算書							○		
	貸借対照表							○		
	財務状況に関する解説							○		
	その他(財産目録)							○		
	その他(監事監査報告書)							○		
	その他(事業報告書)							○		
その他 ()	資金収支計算書									
	消費収支計算書									
	貸借対照表									
	財務状況に関する解説									
	その他()									
	その他()									
	その他()									

- [注] 1 2013年度決算について2014年度中に公開した対象・方法をすべて記入してください。
- 2 「公開している財務諸表及びその解説」欄のうち、「財務状況に関する解説」については、事業内容と関連させた財務状況の解説が付されているかについて、該当する「公開方法」欄へ○を付してください。
- 3 各対象者への財政公開を行っていないが開示請求があれば対応するという場合には、「開示請求があれば対応する」欄に○を付してください。
- 4 「公開の対象者」および「公開の方法」欄の「その他」には、カッコ内に具体的な名称を記入してください。また、「公開している財務諸表及びその解説」欄の「その他」には、監事監査報告書、財産目録、事業報告書等の具体名を記入してください。
- 5 2013年度決算の公開にあたり変更が予定されている場合には、欄外に注記してください。なお、その場合、公開した時点で該当する資料を提出してください。

[本学としての注記]

※1 聖心キャンパス 第207号

※2 聖心女子大学平成27年度事業報告書